

理事会便り

第9回常任理事会議事録

日時 昭和35年12月12日 16:00~17:00
 場所 東京管区気象台長室
 出席者 正野、畠山、吉武、桜庭、岸保、松本、淵各理事
 (順序不同)

決議

- 日本学術会議地球物理学研究連絡委員会気象分科会委員候補者として次の10氏
 孫野長治、山本義一、正野重方、山本竜三郎、沢田竜吉、小平吉男、畠山久尚、吉武素二、大谷東平、岸保勘三郎
 を推薦したが、上記の中小平氏は陸水分科会委員候補者としても推薦をうけ、気象分科会の方を兼務することを希望のため、これによる欠員補充として今井一郎氏を推すこととなった。
- 数値予報国際シンポジウムに関する組織委員会と実行委員会は一応解散し、残務整理とプロシーディング

刊行(昭和36年4月刊行予定)の事務を遂行するため、広報、記録、印刷、編集、会計の各班からなる新たな実行委員会を編成することとなった。

- 数値予報国際シンポジウムに関する広報として、次のように実施することとなった。
 イ 「天気」 口絵 アート 4~5頁
 記事 5~6頁
 ロ 「集誌」 口絵 アート 1~2頁
 記事 「天気」の記事から適当に抜萃してほんやくする。
- 学会賞候補者推薦委員会審査委員について6月10日第1回常任理事会で予定されていたが沢田竜吉氏が外国出張中のためその代りとして坂上治郎氏を入れ次の5氏にお願いすることとなった。
 小平吉男、有住直介(幹事)
 堀内剛二、今井一郎、坂上治郎

第10回常任理事会議事録

日時 昭和36年1月14日 11:00~14:00
 場所 神田学士会館
 出席者 今井・岸保・神山・松本・吉武・磯野・桜庭・畠山・正野・根本・淵 各理事(順序不同)

決議

- 昭和36年度春季大会および総会の日程については北海道支部の要望に基づき下記のとおり実施することとし、大会委員長は中谷宇吉郎氏にお願いすることとなった。

イ 場所: 北海道大学

ロ 期日: 5月29日(月), 30日(火), 31日(水)

ハ 行事: 下記の通り

行 事	日	時
大会(研究発表) (両会場)	5月29日(月)	9~12
〃 (第2会場)	〃	13~17
シンポジウム(気候変動)(第1会場)	〃	〃
大会(研究発表) (両会場)	5月30日(火)	9~11
総会、学会賞授賞式	〃	11~12
受賞記念講演	〃	13~14

大会(研究発表) (両会場) // 14~17
 懇親会 // 18

大会(研究発表) (両会場) 5月31日(水) 9~12
 // (第1会場) // 13~17
 シンポジウム(降雪機構)(第2会場) // //

なお、第3日(5月31日)18時から積雪の観測法、人工降雨に関するインフォーマル・ミーティングを開く予定

大会委員長 中谷宇吉郎

- 1月27日10時から気象庁大会議室で神山理事の帰朝報告を行うこととなった。なお、座長は松本理事にお願いし、公告は同日午後開かれる月例会と一諸に行なうこととなった。
- 神山氏の日中文化交流派遣に関する応授資金は国際学術交流委員会からの申請通り2万支出することとなった。
- サハラ原爆実験に対する抗議声明については仏文をねり直し、今回の原爆実験の件も含めて至急発送することとなった。